

人権だより No. 1

2023年9月29日

人権教育推進委員会

みなさん、こんにちは。

2学期がはじまり、体育祭、文化祭などの行事が目白押しですね。この2学期が実りの秋になるよう様々な事に取り組んで下さい。

今回は1学期から夏休みにかけて行われた4つの活動や取り組みについてお伝えします。

＜ピンクシャツ運動＞

ピンクシャツ運動は、2007年にカナダで誕生した「いじめ反対運動」です。

カナダで中学3年生の男子生徒がピンクのポロシャツを着て登校し、いじめられました。それを知った高校3年生男子2人がその日の内にピンクのシャツなどをたくさん買い、メールや掲示板で友人知人に翌日にピンクのシャツを着ようと呼びかけました。

翌朝、2人はシャツなどを呼びかけた人に配って着てもらいましたが、この日に呼びかけ以上の学生がピンクの服で登校し、学校がピンクに染まり、いじめがなくなりました。それ以来、毎年2月最終水曜はピンクシャツデーとして学校や職場にピンクのものを身につけて行き、いじめの問題について考える日としてカナダ全土に定着し、この運動がアメリカやイギリスなど世界各国へ広まりました。

三重県は、4月と11月を「いじめ防止強化月間」としています。

本校では4月27日に、全校でピンクのものを身につけ、いじめの問題について考える機会としました。

＜南郊中学校との交流＞

6月6日(火) 中学部の生徒が南郊中との交流を行いました。この日、南郊中は体育祭で、競技種目である「玉入れ」に参加しました。前日の練習にも参加し、生徒会のメンバーが中心となって、一緒に玉入れのカゴまでの距離を確かめたり、投げる練習をしたりしました。どうすれば両校の生徒が一緒に安全に楽しく競技できるか、事前にしっかり考えていただいてあって、当日はスムーズに交流することができました。この出会いを大切にして、今後の交流につなげていければと思います。



【盲学校】

・玉入れで投げるのも楽しかったけど、玉を渡してもらったり、少しみんなと話をしたりして、写真を撮ったのが嬉しかったです。

・初めて中学校の生徒と会いました。男の子がやさしく説明してくれて「ありがとう」と思いました。

・昨日（練習）より盛り上がっていた。いっぱい人がいるのを感じられた。

・一緒にしてくれた生徒会の人にボールをもらってたくさん投げることができました。



【南郊中】

・初めましてなのに、自分たちに礼儀正しく接してくださり、また、名前を憶えていただき、とても嬉しかった。

・自分たちが試行錯誤した玉入れで玉が入った時に一緒に喜ぶことができた。

・玉入れという競技を通じてコミュニケーションをとることができて、すごく良い経験になった。

・もっと交流したいと思えた。

＜高茶屋小学校との交流＞

6月27日（火）小学部児童が高茶屋小学校5年生のみんなと交流しました。

午後からの交流でしたので、まず教室掃除に参加し、5年生の教室をきれいにしました。その後、プールに入り、帰りの会にも参加しました。

【盲学校】

・4年生の時の交流で友だちになった子たちがたくさん話しかけてくれてびっくりしました。校舎に入る前に名前を呼んでくれて、名前を覚えてくれていたことがとても嬉しかったです。

・プールで1番おもしろかったのが、みんなでプールの中を同じ向きで歩くと「せんたくき」のような流れができ、流されていく感じを味わえたことです。水の中でのじゃんけんも、相手の子の手を触って勝ち負けを確認でき、楽しかったです。雑巾で床拭きするのは、机にぶつかりそうで怖かったけれど、机や壁がどこにあるかをみんなが伝えてくれたので大丈夫でした。



【高茶屋小】

- ・ プールは「皇帝ペンギンチーム」でしたね。一緒にプールができて楽しかったです。
- ・ 次の交流の時、いっぱい遊んだり勉強したり、話したりしたいです。



<盲学校見学会>

8月9日（水）南郊地区人権フォーラムによる盲学校の見学がありました。高茶屋小、雲出小、南郊中の児童生徒約30名が参加し、本校職員の視覚障がいに関する話、支援機器に関する話、図書館についての話を聞き、様々な機器について写真を撮ったり熱心にメモをしたりと興味深く学習していました。普段あまり目にする事のない、表と裏で色が違うまな板や、文字を大きくして見やすいように色も変えられる拡大読書器など、そうするとなぜ便利なのか？という話を聞いて納得していました。また、点字の図書やデージー図書についても初めて目にする人が多く、新たな発見や驚きがあったようです。

